

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	消防車両車庫入れ中、誘導員の停止合図に従わなかった事例
3. 体験した事例の中心的要素	誘導員の指示に従わなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	隊長の指導不足と機関員の注意散漫及び危険性への鈍感。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。 状況判断に問題があった。 行動の意志決定に問題があった。
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年4月某日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：車庫前
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	有害物と接触
7. 事例体験時の活動	その他:
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：帰所後のバックでの車庫入れ中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[49]歳、勤続年数[30]年、現場経験年数[30] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[54]歳、勤続年数[32]年、現場経験年数[32] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[58]歳、勤続年数[40]年、現場経験年数[40] 年、階級[消防士] 同様の活動 [], 任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D、25歳、勤続1年、現場経験1年、消防士

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A、B、D	車両誘導位置(A:車両前方左、B:後方右、C:後方左)に配置した。	
経過2	C	運転席側の窓を開け、Bの警笛の合図でバックした。	
経過3	A	車両の左後方と庁舎柱との距離がいつもより近く感じ警笛により停止の合図をした。	
経過4	C	そのままバックを続けた。	約1、5m後退した。
経過5	B、D	Aの停止の合図後に、車両が動いているので警笛により停止の合図をした。	
経過6	C	車両を停止させた。	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

機関員だけの判断で行動した。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

状 況 図

